

## 沖縄県公安委員会定例会会議録（令和6年7月4日）

### 1 主な報告等

#### (1) 始業時間変更の試行運用の実施について

委員から、職員のワークライフバランスの充実を図る意味でも大変良い試みである。地域の安全・安心を守るため、学校の登下校時間や地域の各種行事等に早朝または夜遅くまで対応している駐在所員の勤務形態についても、負担軽減に努めていただきたい旨の発言があった。

#### (2) 学校及び大学生と連携した少年非行防止・被害防止対策について

委員から、教育機関との連携は大変重要である。沖縄県教育庁との連絡協議会については、会議の在り方や内容について適宜見直しを図り、連絡協議会の更なる活性化に繋げていただきたい。また、大学生少年サポーターとして委嘱した県内の大学生80名に対して実施した、研修内容のブラッシュアップを図ったことを評価する旨の発言があった。

#### (3) 総合的な水難事故防止対策の取組について

委員から、水上安全条例の改正に当たっては、行政処分の柔軟性、迅速性、画一性等が図れるように努めていただきたい旨の発言があった。

#### (4) 在沖米海兵隊員による不同意性交等致傷事案について

委員から、性犯罪という事案の特性を踏まえれば、被害者の情報を第三者に提供するという事は、それ相当の理由・根拠が必要となる。被害者の意向と被害者のプライシー保護を十分に踏まえて、今後も引き続き適切な広報対応及び関係機関との連携に努めていただきたい旨の発言があった。

#### (5) 自動車業界記者への連携協定の取組に関するプレスリリースについて

委員から、大変素晴らしい取組である。このように交通事故データとプローブデータを活用して、外国人観光客の交通事故防止対策や飲酒運転未然全防止対策にも繋げていただきたい旨の発言があった。

#### (6) 爆発物対応専門部隊による那覇空港における不審物件対応について

委員から、海空港においては今後も実際に対応が想定される事案であり、今回の反省・教訓を踏まえ、対応能力・技術をブラッシュアップしていただきたい旨の発言があった。

#### (7) その他

警察本部から、性犯罪の関係者は、今後の捜査や公判への対応、個人情報の取扱い等、様々な不安を抱えながら警察の捜査に協力している。昨今の刑事手続きや刑法改正により性犯罪の関係者の保護、処遇等も改善されている状況にある。県警察

としては、これからも関係者のプライバシーが保護されているという安心感の醸成、信頼関係の構築等にきちんと配慮していきたい旨の発言があった。

## 2 主な決裁等

### (1) 警務部

- ・ 公安委員会あて苦情の受理について
- ・ 公安委員会あて意見要望について

### (2) 交通部

- ・ 自動車運転免許の行政処分について
- ・ 自動車教習所に対する行政処分について
- ・ 安和において発生した交通死亡事故について

### (3) 警備部

- ・ 警察職員の援助要求及び警備情勢について